



「なぎがまCS」に寄せる期待

下諏訪中学校校長 登内俊秀



コミュニティ・スクールは国（文部科学省）の教育施策であり、長野県でも重要教育施策として各学校及び市町村教育委員会で力を入れて取り組むように指導を受けている。特に長野県では、国の施策の先取りとして、独自に信州型コミュニティスクールを進めている。その中でも、小中一貫教育を基本に中学校区別に、それぞれのコミュニティスクールを展開している下諏訪町の取り組み

は、先を行く長野県の更に先を行くものとして結構な話題になっている。

今年、長野県中体連の会合で出張することが多いのだが、会合の折に、下諏訪町のコミュニティスクールについて興味深く質問してくる方がいて、何となく誇らしい思いがする。これからも、地域と学校が一体となって、なぎがまコミュニティスクールの活動を活性化していきたいものだ。

下中ボート部全中男子総合優勝



～下中ボート部社会体育外部コーチ 藤森武さんからコメントを寄せていただきました～

昨年の第36回全日本中学選手権競漕大会に於いて男子団体で総合優勝を果たしました。シングルスカル決勝で4位と6位、ダブルスカル決勝で4位という結果、総合得点13点で静岡、滋賀の強豪校を抑えての男子総合優勝という、下中ボート部創立以来の快挙を達成しました。選手たちは最後まで諦めずに漕ぎ切った結果でした。今年の全中は男女ともメダルを狙える可能性があります。是非頑張って結果を残すことに期待をしています。

私はボートに携わって40年近くなります。下中ボート部を指導するようになって15年位になります。その中で常日頃から、自分に負けないように、常に100%以上の力を出し切るように、高い目標、具体的な目標を持ってチャレンジするように、その他いろいろ生徒たちに繰り返して言っています。またスポーツですから勝敗は重要です。でも勝ち負けよりもボートに取り組む姿勢・態度も重要視してやっています。その中でボートが好きになってくれたらいいなと思っています。卒業する時に「ボートをやって良かった」「ボートが面白いから高校へ行ってもやってみよう」とい

う言葉を聞くのが一番うれしく思います。子供たちの年齢は変わりませんが、子供たちに負けたくないという気持ちと一緒にボートをやっています。



祝
 第三十六回全国中学選手権
 競漕大会 男子総合優勝

本物から学ぶ南小のクラブ活動

～15のクラブの内7つに地域講師が入りました～

月/日	クラブ名	地域講師名	クラブ員数
5/24	日本文化	吉澤 恵さん	23名
6/14・28	料理	吉澤 すえ子さん・食育応援隊のみなさん	30名
8/30	凾	小口 峯一さん	13名
9/20	将棋	高山 文孝さん	26名
10/4・18	工業コマ	安 英輔さん	23名
11/1	町探検	矢澤 進一さん	19名
	プログラミング	河西 朝雄さん	18名



「凾」クラブ

◇講師の方の感想から（紙面上、全員の方の感想が載せられない事ご容赦願います。）

- ・立体凾がいろんな形で飛ぶことを理解してもらえたと思う。もう少し理論的な部分も教えられたらもっと良かったかと。多くの子に参加してほしい。
- ・ほとんどの児童は超初心者で、将棋の基本を徹底して進めた。毎回詰め将棋を出題し、考える機会とした。長く将棋を趣味として楽しんでほしい。
- ・工業コマとはあまり関係がないかと思ったが、楽しくできた。礼状(感じた事を書いて頂き)をありがたく思っている。
- ・難しい話しにも子どもたちが興味をもって活動しようとしていた。よく目をこらし、耳を傾け勉強しようとする姿は素敵だった。



「将棋」クラブ



「工業コマ」クラブ



「町探検」クラブ

下諏訪町には子どもたちを暖かく見守り、応援して下さる方々が大勢いらっしゃいます。今回は **長崎幸作さん**（高木在住）をご紹介します。

長崎さんは平成18年から長年に渡り、高浜交差点で南小児童の登校時の見守りをボランティアで続けて下さっています。子どもたち数人から小さな感謝状をもらった事があると嬉しそうに話して下さいました。取材をした朝も-2℃の寒い中、大きな声で子どもたちとあいさつを交わしていらっしゃいました。

《長崎幸作さんの思いを届けていただきました》

通学路（高浜交差点）をボランティアで一人、見守りしておりますが、家族、友人、知人等の皆様方の暖かいご支援があり、今日まで続ける事ができました。車の中より手を振ってくれる方、横断歩道手前で児童が渡るのを止まって待って下さる方々には、いつも感謝しております。ありがとうございます。



車に気を付けて
行くんだよ！

は～い
行ってきます

なぎがまCSの看板を制作して下さいました 下中美術担当 小林美典教諭



木に字を書いて欲しいと頼まれて書き始めたところ滲んでしまい・・・はて、どうしたものか？ そうだ！字の周りを彫ってしまえば滲みも消えるし、一石二鳥だ！！と頑張って彫りました。木が堅かったので、彫刻刀を何度も砥ぎながら制作しました。

学校の玄関に
掲げました



なぎがまCSだよりの題字を作成して下さいました 南小 塚田良雄教頭先生

「なぎがま」ということで、昨年度は「鎌」の三日月形の刃をイメージして点画を筆ペンで書きました。今年は、御柱年でもあり、「雑鎌」そのものを『C』と『S』の部分に入れ込んでみました。習熟した線質にはほど遠いですが、出来るだけなぞらず、一発勝負の線にしました。

題字に注目！

CS

H27 年度版

CS

H28 年度版